

はちまんたい

No. **38**
2015年(平成27年)
2月5日

主な内容

■議員と語る会.....02

■12月定例会.....04

■一般質問.....06

9人が市政を問う

議会だより

いわて国体 出場つかむ

伊藤なのは(盛岡誠桜高校3年)

Proud!
東日本大震災の復興を支援しよう
Japan

開かれた議会へ 市民と対話の場

— 4会場で52人が参加 —



八幡平市議会は昨年11月21・22日の両日、議会報告会「議員と語る会」を開催しました。市内4会場で開かれた議員と語る会には、市民延べ52人が参加。議員自らが市民に直接、平成26年第3回定例会などの議会活動を報告したほか、市民と市政や市議会などに対する意見交換を行いました。ここでは、議員と語る会で寄せられた主な意見・要望などを紹介します。



議員が3班に分かれ、市政や市議会について市民と意見交換しました（荒屋コミュニティセンター、2班・昨年11月21日）

1 班

● 11月22日 ●
大更コミュニティ
センター
■ 参加者 16人

■ 都市計画道路大更駅前線の工事はいつから始まるか。

◆市の回答(対応方針)

28年度の着手を目指したい。

■ ひまわりニュータウンと市道大更西線を結ぶ道路工事はいつやるか。

◆市の回答(対応方針)

道路の利用状況などを見極めながら検討する。

■ 総合計画後期基本計画の中の公園整備に大更の鎮守の森はあるか。

◆市の回答(対応方針)

八坂児童遊園の維持管理は行っているが、公園整備、設置は計画していない。



大更コミュニティセンター
(1班・昨年11月22日)

2 班

● 11月21日 ●
荒屋コミュニティ
センター
■ 参加者 19人

■ 八幡平温泉郷活性化のための対策を講じてほしい。
■ 市民の民意の捉え方を議員はきめ細かくやってほしい。

■ 荒屋コミュニティセンターの雨漏りがひどい。改修を要望しているがどうなったか。

◆市の回答(対応方針)

原因箇所が不明なことから、27年度に調査設計を予定している。

■ 地元企業への利子補給制度をもっと大きな額で支援できないか。

◆市の回答(対応方針)

昨年7月から設備資金と運転資金・設備資金併用での限度額を2000万円から3750万円に引き上げたところである。

■ テレビ難視聴の共聴施設を光回線に移行する工事で、市の補助はどのようにになっているか。

◆市の回答(対応方針)

NHK共聴施設は、NHKが20年以上経過したものから順次移行工事を進めている。市でも老朽化更新に対し、補助できるよう予算の確保などを行い対応していく。

■ 欠の山付近の国道282号のバイパス工事を早く着工してほしい。

◆市の回答(対応方針)

事業の具体化は難しいことから、市では小屋の畑付近から五日市地区までを市道鴨志田線などを経て、迂回路の機能を持つ路線の整備を計画している。

■ 公共施設の利用状況を正確につかんでいないのではないかな。

■ 地区内のお店が減り、高齢者の買い物が大変である。行政で食料などの販売カーができないか。

■ 大更駅周辺のにぎわいづくりに、議会として何か提案しているのか。

3 班

● 11月21日 ●
寺田コミュニティ
センター
■ 参加者 9人

■ 25年度西根病院事業会計で収入に対し、支出が上回った理由は。

◆市の回答(対応方針)

院長が退職したことや、常勤医師が1人減の状態が継続したことが主な要因と考える。

■ 西根病院を移転する話があるが、現在の西根病院の跡地利用計画は。

◆市の回答(対応方針)

医療福祉関係の施設として利活用が図られるよう検討している。



寺田コミュニティセンター
(3班・昨年11月21日)

■ 市内の花輪線全ての駅のバリアフリー化を進めるべきではないか。
■ 人口減少について議会と行政で議論してほしい。
■ 議員定数削減を真剣にやってもらいたい。

1 班

● 11月21日 ●
南寄木集落
センター
■ 参加者 8人

■ 大和ロイヤルシティの分譲地周辺の防災無線が聞こえない。何らかの対策を取ってほしい。

◆市の回答(対応方針)

今後予定される防災無線のデジタル化のときに屋外拡声子局設置を検討する。その間は、広報車による巡回広報などで対応したい。

■ 医療費の無料化を中学生までにしてほしい。

■ 防災対策について再検討が必要ではないか。

■ 議会改革特別委員会設置の目的は何か。

■ 【回答】市民に開かれた議会を目指し、議会基本条例策定などを検討するためである。



南寄木集落センター
(1班・昨年11月21日)

議員と語る会に参加いただき ありがとうございました

各会場の実施報告書や参加者のアンケート結果、要望・提言などに対する市の回答(対応方針)の全文など、議員と語る会について詳しくは、八幡平市議会のホームページに掲載しています。

<http://www.city.hachimantai.lg.jp/>

新庁舎移転後初の定例会 13 議案を原案可決



八幡平市老人憩の家条例及び綿帽子温泉館条例の一部を改正する条例については、賛成多数で原案可決（昨年12月18日・第4回定例会最終日）

平成26年八幡平市議会第4回定例会（12月定例会）を昨年12月9日から18日までの10日間、市議会議事堂議場で開催しました。今回の定例会では、9人が一般質問をしたほか、全14議案を審議しました（うち1件は撤回）。ここでは、新庁舎移転後初めての定例会となった12月定例会の主な内容を紹介します（金額はそれぞれ1万円未満切り捨て）。

原案可決

●八幡平市体育施設条例等の一部を改正する等の条例
松尾憩の家と友好都市交流促進センターの機能を自然休養村に含めるとともに、同休養村の体育施設（左表参照）を

■分離した体育施設一覧

変更前の名称 (自然休養村)	変更後の名称 (市体育施設)
上寄木グラウンド	八幡平市ラグビー場
鬼清水グラウンド	八幡平市鬼清水球技場
中山グラウンド	八幡平市中山ラグビー場
中山野球場	八幡平市中山野球場

分離し市体育施設の中に含めようとするものです（4月1日施行）。
問 利用者の拡大を図るため、午前9時から午後6時までの利用時間を広げるべきである。
答 照明設備がないことから、午後6時までとし、利用時間の延長には柔軟に対応する。

●八幡平市保育所条例の一部を改正する条例
子ども・子育て支援法と児童福祉法の改正に伴い、整備しようとするものです。

●八幡平市手数料条例の一部を改正する条例
農地法の改正に伴い、新たに農地台帳の閲覧と農地台帳記録事項要約書の交付の手数料（1件200円）を定めようとするものです。

●平成26年度八幡平市一般会計補正予算（第8号）

歳入、歳出それぞれ2億1194万円を増額するもので、主な歳出は次のとおりです。
▼福祉避難所用資機材等整備事業 600万円

▼冬の八幡平ナイトシャトルバス運行事業委託料 98万円
▼除雪業務委託料 6170万円

▼住宅リフォーム支援事業助成費 300万円

問 市道鴨志田線橋梁予備設計業務委託料の当初予算600万円全額を減額した理由は、

答 本年度に概略設計を発注した本線のルートが決まらな

いと橋の設計ができないことから、来年度以降に取り組みたいと考えている。

問 冬の八幡平ナイトシャトルバス運行事業の前身は、

答 海外からの観光客は連泊する人が多いことから、食事やショッピング飲食などを楽しんでもらうため、2月までの42日間、安比のホテルやペンションから平館・大更地域を経て大更駅までのルートを1日2便運行するものである。
※第4回定例会では、4特別会計と2事業会計の補正予算も原案のとおり可決しました。

■西根老人憩の家・綿帽子温泉館利用料金

区 分		利用料金
市内に住所がある65歳以上の人、障がい者、老人クラブ会員		1 回200円
市内のサロンその他の団体		1 人当たり 1 回200円
その他	大人(中学生以上)	1 回600円
	小学生	1 回300円

平成26年八幡平市議会第4回定例会 賛否の分かれた議案などの採決結果

議員名	議案名	議案第13号 八幡平市老人憩の家条例及び綿帽子温泉館条例の一部を改正する条例
1 工藤 隆一		○
2 田村 善男		○
3 畠山 康		○
4 井上 辰男		○
5 立花 安文		○
6 大森 力男		○
7 渡辺 義光		○
8 工藤 剛		○
9 遠藤 公雄		○
10 古川 津好		●
11 小野寺昭一		○
12 田村 孝		○
13 山本 榮		●
14 高橋 守		○
15 高橋 悦郎		●
16 関 善次郎		○
17 大和田順一		○
18 高橋 光幸		○
19 米田 定男		●
20 北口 和男		○
21 伊藤 一彦		●

※「○」＝賛成、「●」＝反対
工藤直道議長は採決には加わりません

請 願

答 60歳から64歳の人には市内4施設で利用できる割引券を年間60枚ほど発行する。

■産業建設常任委員会が審査

◎浅沢地域道路改良に関する請願書（請願者Ⅱ浅沢地域振興協議会会長・佐藤三郎）

市道浅沢線と県道二戸五日市線を結ぶ農道と浅沢コミュニティセンター脇の農道の舗装改良を求める内容
▼結果 継続審査（なお慎重な審査が必要）

◎市道沢口線に流雪溝整備・設置を求める請願（請願者Ⅱ沢口自治会会長・安保友夫）



市道沢口線流雪溝の現地調査（昨年12月16日）

◎米価安定対策等に関する請願（請願者Ⅱ新岩手農業協同組合代表理事組合長・久保憲雄）
将来にわたり安定的な

議員提案

◎米価安定対策等に関する意見書（提出者Ⅱ産業建設常任委員長）
▼本会議審議結果 原案可決
（意見書は衆議院議長や内閣総理大臣などに提出）

稲作経営を展望できるよう国に意見書の提出を求める内容
▼結果 採択すべきもの
※第4回定例会では、第3回定例会で産業建設常任委員会に付託審査し、継続審査としていた農業委員会・企業の農地所有・農協改革など、「農業改革」に関する請願を再び継続審査とすることになりました。



わた なべ よし みつ
渡辺義光 議員
(新政クラブ)

新庁舎に新しい風と活気 意識改革と接遇向上徹底

渡辺議員 市民が待望した新庁舎が完成した。八幡平市を象徴し、市民に愛される庁舎で、行政サービスの向上や職員の意識改革をどのように考えているか。

市長 多目的ホールや結のひろばなどを広く活用し、市民の一体感の醸成が図られることを期待している。新庁舎の完成を機に、常に職員心得五カ条を意識して、一丸となり行政サービスを向上に努めたい。

渡辺議員 新庁舎の一般公開見学者や来庁者の意見、要望事項はどうだったか。

市長 特に若い世代に興味・関心を持ってもらい、観光市場としての可能性を感じた。来年度は、タイの観光イベントに観光関係者などを派遣し、観光と特産品をPRしたい。また、八幡平市を訪れたタマサート大学生OBとの交流、連携を深め誘客事業を展開していきたい。



市長自らが八幡平市をPR
(昨年11月16日、タイ・バンコク)

郷土芸能保存と支援

渡辺議員 郷土芸能や伝統行事の継承と保存が危惧されている。育成と支援の考えは。

教育長 来年度に記録保存や後継者育成、情報発信、公開などに活用するため、市指定無形民俗文化財を撮影したDVDの制作を検討している。



く どうりゅういち
工藤隆一 議員
(八起会)

外国人旅行者に免税販売 滞在型観光地化へ意欲

工藤議員 訪日外国人旅行者への消費税免税店化の取り組みが必要ではないか。

市長 免税店も含めた外国人観光客への観光ルートや体験、トレッキングなどメニューを広げ、滞在型の観光地にしなればならないと考える。

工藤議員 観光地や公共施設で、多言語の表示が必要ではないか。

市長 ピクトグラムと言われる案内用図記号を使用すれば日本人、外国人を問わず案内できるので、順次整備に努めたい。

教育長 児童生徒が勤労観・職業観などを身につける活動の支援などをした。成果として、あいさつや言葉遣いなど日常的な取り組みがきちんとされコミュニケーション能力が高まったほか、体験活動を通じ、具体的な職業について、関心を持ち理解を深めることができたと考えている。



キャリア教育は次代を担う人づくり
(西根中学校の職場体験)＝同校提供＝

認知症の行方不明者

工藤議員 認知症で捜索依頼があった行方不明者はいるか。

市長 市で把握している認知症の行方不明者はいない。捜索に関しては、認知症高齢者の早期発見と保護などを目的とした広域的なシステム構築に現在取り組んでいる。



は た け や ま
山 康 議員
(八起会)

いわて国体への取り組み 発信する最大のチャンス

山議員 平成28年に希望郷いわて国体が開催されるが、ボランティアの予定人員は。

市長 本年度から取り組んでいる花いっぱい運動を引き続き展開していくほか、参加都道府県の応援メッセージを書いた歓迎、応援のぼり旗の作成を計画している。

山議員 八幡平市らしさを発信していくための工夫は。

市長 本年度、市独自の国体スローガンを募集し、決定した。今後は市の食材を選手の食事や弁当に使用するなど、農の部分をより強く発信していきたい。

山議員 特産品や観光資源をどのように活用していくか。



松川地区の天にそびえ立つ参考林

山議員 松川地区の学術参考林(松森山御堂松)を観光資源として活用できないか。



たかはし えつろう
高橋悦郎 議員
(日本共産党)

米価を市場任せで良いか 供給コントロールに期待



需要に見合った生産量の確保を
(西根地区の大型ライスセンター)

高橋議員 26年産米の米価は前年比約30%の衝撃的な下落となった。この米価下落による影響額はいくらか。
市長 農協の概算金ベースでは約4億1000万円の減少となる。これに収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)で1億8000万円が交付される見込みで、下落による収入は

約2億3000万円の減少と試算している。
高橋議員 コメの直接支払交付金が26年産米からこれまでの半額の10⁷当たり7500円になった。これで約1億8千万円が農家の収入減になる。直接支払交付金の半額になった分しかナラシ対策の交付金が入ってこない形で、ナラシ

対策の効果は、金額ベースでみると消えてしまっている。
市長 国の予算の中では、直接支払交付金の半額分は多面的機能支払交付金に充てたというところである。地域全体としては金額が減っていないことをご理解いただきたい。
高橋議員 個々の農家の収入減少が大問題なのであり、ど

う支援するかが問われている。今回の米価下落は国も事前に分かっていて、農業団体からは市場に余っているコメを、備蓄米として国が買い上げるよう要望していたが、国は一切応じなかったことが米価下落に拍車をかけた。米価を市場に任せている国の対応をどう思っているのか。

市長 備蓄米の政府買い上げについては、当然要望していく。今の米価は需要と供給のバランスで成り立っている。今後農協が市場動向を見極め、供給をコントロールし価格を上げていくことを期待したい。

●他の質問事項 人口減少問題について



きたぐち かずお
北口和男 議員
(無会派)

市長の市政運営の理念 新庁舎開庁で新たに出発



地方創生モデルとなる小松製作所
栗津工場を視察 (昨年11月7日)

北口議員 農と輝の大地実現のための念願であった新庁舎が開庁した。市長の市政運営の理念は。
市長 新庁舎開庁が旧3町村合併の集大成であるとともに、八幡平市の新たな出発点になる。市職員が一丸となり、市民福祉の向上と市の活性化に取り組む。

北口議員 市長と市職員との連携が合わないとの声があるがどのように認識しているか。
市長 今後そのようなことがないように意思疎通の強化や内部協議の徹底を図る。
北口議員 市民からの要望に対して、市からは回答がないことがあるがどのように改善するか。

市長 全く回答がないケースがあったとすれば、部課長を通じてすぐに対応するよう指導する。
北口議員 今後の市勢発展には、近隣市町、県との連携が重要である。どのように進めていくか。
市長 来年度、盛岡市が地方中枢拠点都市宣言を行う予定

であり、どのような施策の連携を強化することが市の発展につながるかを踏まえた上で、盛岡市を中心とした広域連携を重点に取り組む。
北口議員 地方創生推進の中で雇用の場の確保のため、

企業の地方への誘致を国に要望するべきではないか。
市長 全国知事会では、地方へ移転などを行う企業に対する税の軽減制度の創設を訴えた、県知事も企業の本社機能の移転を要望した。全国市長会でも同様の要望をするよう提言していく。議会でも要望、提言に努めていきたい。



まい た さだお
米田定男 議員
(日本共産党)

産廃最終処分場の立地

大きな問題はある



県の次期産業廃棄物最終処分場
整備候補地(平館第2地割内)

米田議員 社会に産業活動が存在する限り、産業廃棄物が発生することは必然であり、住民の暮らしや自然などに影響を与えない安全な廃棄物の処理を構築するのは社会の責務である。八幡平市が県の次期産業廃棄物最終処分場の整備候補地の一つとなっているが、最終処分場の立地につ

ては、何よりも住民が施設そのものや、その維持管理について納得するかどうか判断の前提ではないか。
副市長 交通安全上、広域農道に大型車両が入ってくるということや、予期しない大雨が降った場合に処分場に堆積する水をどう排水していくかは大きな問題と考えている。

具体的方向性が出た段階で、県には申し入れていかなければならない。
米田議員 ごみの県央ブロック広域化計画は、処理施設の建設費や維持経費の削減を第一の目的としているが、ごみ処理の効率化は、まずごみの減量化、資源化が第一であるべきだ。

市民課長 減量化で施設の規模なり全てに影響してくる。地球温暖化対策などを考えても、減量化、資源化の推進を重点にするのが基本と認識している。
米田議員 八幡平市環境基本計画前期行動計画では、27年度のごみ排出量の目標は、22年度比5・2%減としている

が、25年度実績は6・8%増であった。具体的な分別の推進などの手立てを取らなければごみの削減は実現しない。
市民課長 さまざまな取り組みをしてきたが、現実の成果は上がっていない。具体的な分別の取り組みを強化し、短期・長期的な対応が必要な部分も検討しながら推進する。



やま もと さかえ
山本 榮 議員
(日本共産党)

サービス低下しないため

介護予防・生活支援充実



実情に応じたサービスの提供を
(介護施設のデイサービスの様子)

山本議員 第6期介護保険事業計画が平成27年4月からスタートする。厚生労働省が示した新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」では非専門職のサービス提供が可能になり、市として要支援者の締め出しや期間限定の打ち切りなど、サービス低下がないような取り組みが必要である。

山本議員 施設入所待機者の問題は急務である。増床すれば保険料に跳ね返るという問題はありますが、待機者をなくす努力をすべきである。現在の待機者数と施設整備計画は、**市長** 平成26年3月31日現在、早期な入所が必要な待機者は38人である。また、第5期介護保険事業計画に基づいた特

別養護老人ホームの新設が進んでいる。次期計画の施設整備は、保険料の上昇に直結することから待機者の動向を見極めた上で慎重に検討する。**山本議員** 盛岡北部行政事務組合の第5期介護保険事業計画での65歳以上の介護保険料は県内で一番高くなっている。第6期計画では保険料の引き



た むら たかし
田村 孝 議員
(新政クラブ)

合併10年に向けた検証

後期計画は75%事業着手



合併のシンボルである新庁舎

田村議員 八幡平市が誕生し10年を迎える。ハード・ソフトの両面で検証が必要ではないか。

市長 総合計画基本計画を基に市政の検証を行っているところである。後期基本計画の25年度までの実績は、全体事業に対して着手率は75%である。今後は、行政評価で各施策、事業の成果目標がどれだけ達成され、どのように改善すればよいか検証を進めたい。

軽自動車税率改正 市民の影響と税収

田村議員 地方税法の改正で軽自動車税の税率が引き上げられる。市民への影響と市の税収はどの程度か。

市長 27年度は430万円ほど税収の増を試算している。**税務課長** 小型特殊自動車のうち農耕作業用のは、市町村が定められた範囲で税率を再設定できる中で一番低い1台2000円にした。盛岡税務署管内では八幡平市だけであり、農の大地を支える農家の負担軽減のためである。

河川災害に対する 事前の計画と対策

田村議員 八幡平市の河川災害に対して、市の計画と対策はどのようになっているか。**市長** 市が管理する河川は、現況の機能を維持しながら、災害が発生した場合、復旧対策に努めていく。

田村議員 被害を軽減するためには、災害が起きる前に事前の対策が必要ではないか。**建設課長** パトロールなどをしながら、被害が起きそうなところは十分でないにしても修繕する手法をとっている。

●他の質問事項 市内の農地集積について



ふる かわ つ よし
古川津好 議員
(緑松会)

早急な消防署の統合

次期行政改革大綱で検討



人も減る、団員も減る、消防署も？

古川議員 市の第1次行政改革大綱で、常備消防の松尾出張所を八幡平消防署本署へ統合することがうたわれていた。その後の進展状況はどうか。**市長** 盛岡広域消防組合本部の通信指令業務の統合も実施されていることから、本署、各出張所の消防救急業務の状況を確認しながら対応したい。

古川議員 他の自治体と比較して八幡平市の負担は突出している。統合して職員を減じるにも時間を要する。早急に進めるべきではないか。**副市長** 28年度からの次期行政改革大綱で検討したい。**古川議員** 人口減少につれて、消防団員も減少している。再編が必要ではないか。

市長 団員の減少で消防活動などに支障も出てきている。消防団本部で分団の意向など再編の協議が始められており、その状況を受け検討したい。**合併10周年記念事業** **古川議員** 合併10周年記念事業はどのようなものを企画しているか。

市長 市民憲章推進大会に併せた記念式典のほか、市内を南北に縦断する国道282号での次代を担う子どもたちの駅伝などを企画している。**クラブ活動への支援** **古川議員** バス料金が大幅に値上がりし、遠征など子どもたちのクラブ活動で支障が出

てきている。何らかの支援が必要ではないか。**教育長** 学校事業の一環として行われる大会には公用バスを配車しているが、現況では体育協会なりを通じての支援である。**副市長** これまでの活動状況や料金の値上がりを踏まえての対応になるかと思う。

議会広報常任委員会

高橋悦郎(委員長) 井上辰男(副委員長)
大和田順一 関 善次郎 古川津好 田村善男

- 期日・場所 26年10月2日(木)・東京都あきる野市
■内容 議会広報の発行に関する所管事務調査



東京都あきる野市(昨年10月2日)

**市民から歓迎される
広報にリニューアル**

◎東京都あきる野市
あきる野市議会では、議会広報が読まれていないという問題意識から「手に取ってもらえる表紙づくり」「気づきを与える表現方法や読みやすさの工夫」を目指して検討を行い、平成25年2月1日発行号から議会広報を大幅にリニューアルしました。リニューアルされた議会広報「ギカイの時間」は、各号ごとに市内の職業やグループを対象にした特集を組み、表紙の写真と連動させているほか、議案審議の記事は市民の関心の高いものをピックアップしたり、裏表紙には小学生が自分の夢を語るコーナーが掲載されていたりするなど、市民に読んでもらうための編集に取り組んでいます。

議会運営委員会

小野寺昭一(委員長) 米田定男(副委員長) 古川津好 遠藤公雄
工藤 剛 立花安文 (オブザーバー) 工藤直道 伊藤一彦

- 期日・場所 26年11月19日(水)・埼玉県飯能市
■内容 議会運営についての所管事務調査

**タブレットを使って
議会運営の効率図る**

◎埼玉県飯能市
飯能市議会では、ICT(情報通信技術)を活用した議会改革推進の一環で、24年度からタブレット端末(ほとんどの操作を液晶画面に指を触れて行うタイプのコンピュータ機器)を導入しました。
タブレット端末は、議員全員協議会などのペーパーレス化や議会内の情報伝達、災害時の緊急通信、各種資料の閲覧などに活用されています。また、議場内でも自由に使えることにしていますが、利用に当たったルールを設けていました。導入したことにより、紙使用量などの経費削減、メールでのやり取りによる情報伝達の迅速化などにつながっているというものでした。



埼玉県飯能市(昨年11月19日)

議会改革特別委員会

古川津好(委員長) 遠藤公雄(副委員長)
北口和男 米田定男 高橋 守 小野寺昭一 大森力男

- 目的 八幡平市議会基本条例策定および議会改革に関する検討



議会改革の必要性、議会のあるべき姿を講師の佐藤淳氏(写真左)から学びました

議会基本条例策定に向けて検討スタート

平成26年第3回定例会に、八幡平市議会基本条例策定と議会改革の検討を行う「議会改革特別委員会」を議員提案で設置しました。
昨年10月16日に開かれた第1回委員会では、委員長に古川津好委員、副委員長には遠藤公雄委員を互選。同10月27日の第2回委員会では、平成28年3月定例会までに議会基本条例の制定を目指すことにしました。同委員会では議会基本条例案のほか、議員定数などの検討を行っています。
また、1月23日には議員全員を対象に、議会基本条例に向けた研修会を開催し、青森中央学院大学の佐藤淳専任講師から「今なぜ議会改革か」議会改革の必要性とその実践」と題して講演いただきました。

総務常任委員会

渡辺義光(委員長) 立花安文(副委員長)
米田定男 高橋光幸 高橋 守 遠藤公雄 井上辰男

- 期日・場所 26年10月23日(木)=宮城県東松島市、24日(金)=山形県鶴岡市
■内容 公民館のコミュニティセンター化に関する所管事務調査

地区公民館を地域の活動拠点施設に移行

◎宮城県東松島市
東松島市は、合併を機に市が進むべき新たな方向として「協働のまちづくり」を打ち出しました。21年度から地区公民館を各自治組織が運営する活動拠点「市民センター」に移行し、地域の特性を生かした事業展開が行われています。
◎山形県鶴岡市
鶴岡市では、社会教育を中心とした活動に限界が生じたことから、住民自身による組織作りが活発化し昭和62年までに旧鶴岡市の小学校区全てにコミュニティセンターが整備されました。現在は合併後の旧鶴岡市以外の地区公民館を総合的な地域活動の拠点となる「地域活動センター」への移行を進めています。



山形県鶴岡市(昨年10月24日)

教育民生常任委員会

工藤 剛(委員長) 田村善男(副委員長)
北口和男 大和田順一 山本 榮 古川津好 工藤隆一

- 期日・場所 26年10月29日(水)=山形県母子寡婦福祉連合会、30日(木)=山形県寒河江市
■内容 小中学生に対する学習支援と高齢者福祉に関する所管事務調査



山形県母子寡婦福祉連合会(昨年10月29日)

無料で個別学習指導「無事かえる」を支援

◎山形県母子寡婦福祉連合会
山形県母子寡婦福祉連合会は、経済的理由で学習塾に行けないことで生じる学力格差を解消し、貧困の連鎖を断ち切る一助として、村山地区のひとり親家庭の小中学生を対象に毎週日曜日、無料で個別学習指導を行う「ひとり親家庭学習塾運営事業」を実施しています。
◎山形県寒河江市
寒河江市では、認知症の高齢者が徘徊や迷子で家に戻れなくなったり、行方不明になったりしたとき、早期発見できるよう高齢者の情報を登録し、連絡先などを常に携帯できる見守りグッズを配布するなど、高齢者本人の安全と家族を支援する「無事かえる支援事業」を行っています。

産業建設常任委員会

大森力男(委員長) 関 善次郎(副委員長)
伊藤一彦 高橋悦郎 田村 孝 小野寺昭一 畠山 康

- 期日・場所 26年11月13日(木)=新潟県見附市、14日(金)=新潟県三条市
■内容 産業振興に関する所管事務調査

道の駅を交流拠点にものづくり技術支援

◎新潟県見附市
見附市は、河川改修で発生した用地に防災と交流の拠点となる道の駅「パティオにいがた」を25年度に整備しました。電気自動車充電設備や災害時のヘリポートなどを備えるほか、地域振興施設を一体的に整備し、気軽に立ち寄りにぎわいのある観光交流施設を目指しています。
◎新潟県三条市
三条市では、ものづくりの技術を高め集積を図り、技術開発に挑戦する企業を育成・強化するため、21年度から「売れるものづくり・売れるしくみづくり支援事業」を実施しています。新しい技術や製品開発の事業費や、新規販路の開拓を図る展示会出展などの経費を補助しています。



新潟県三条市(昨年11月14日)

議会の動き (26年10月30日から 27年1月27日まで)

26年10月

- ▶30日 長崎県長崎市議会会派視察来庁
- ▶31日 平成26年盛岡北部行政事務組合議会第2回定例会

11月

- ▶5日 全国市議会議長会第97回評議員会、全国温泉所在都市議会議長協議会第85回役員会、平成26年盛岡地区広域消防組合10月定例会、新政クラブ・無会派(北口和男議員)合同研修(～7日)
- ▶7日 第2回盛岡広域8市町正副議長懇談会
- ▶10日 宮古市・八幡平市議会議員合同研修会
- ▶11日 県市議会議員研修会
- ▶12日 無会派(工藤直道議長)研修(～14日)、盛岡地区広域消防組合議員消防行政視察研修
- ▶13日 産業建設常任委員会所管事務調査(～14日)
- ▶17日 議会改革特別委員会、全国市議会議長会基地協議会第82回理事会および衆・参基地関係委員会委員との要望懇談会
- ▶19日 議会運営委員会所管事務調査(～20日)
- ▶21日 議会報告会「議員と語る会」(～22日)
- ▶25日 議会運営委員会
- ▶26日 平成26年11月岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会

- ▶27日 議会運営委員会、市議会第3回臨時会、議員全員協議会

12月

- ▶2日 議会運営委員会
- ▶9日 市議会第4回定例会(～18日)、議員全員協議会、議会広報常任委員会
- ▶11日 産業建設常任委員会
- ▶12日 教育民生常任委員会
- ▶15日 会派代表者会議、議会改革特別委員会
- ▶16日 産業建設常任委員会
- ▶18日 会派代表者会議、議会運営委員会、議員全員協議会
- ▶22日 雫石東八幡平線道路促進協議会総会ならびに研修会
- ▶26日 議会広報常任委員会、議会運営委員会

27年1月

- ▶7日 議会改革特別委員会
- ▶14日 八起会会派研修(～16日)
- ▶15日 県市議会議長会第2回定期総会(～16日)
- ▶19日 議会改革特別委員会
- ▶21日 盛岡市市政調査会研修会、全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会議会広報常任委員会
- ▶22日 八幡平市議会基本条例研修会、議員全員協議会
- ▶23日 八幡平市議会議員と農業委員合同研修会
- ▶26日 八幡平市議会議員と農業委員合同研修会
- ▶27日 議会広報常任委員会

3月定例会の日程(予定)

期 日	内 容
2月18日(水)	市長施政方針演述 ほか
2月19日(木)	休 会
3月3日(火)	
3月4日(水)	会派代表質問
3月5日(木)	会派代表質問、一般質問
3月6日(金)	一般質問
3月7日(土)	休 会
3月8日(日)	休 会
3月9日(月)	一般質問、議案審議
3月10日(火)	予算特別委員会
3月11日(水)	休 会
3月12日(木)	予算特別委員会
3月13日(金)	予算特別委員会
3月14日(土)	休 会
3月15日(日)	休 会
3月16日(月)	予算特別委員会
3月17日(火)	予算特別委員会
3月18日(水)	休 会
3月19日(木)	休 会
3月20日(金)	議案審議、請願・発議案

※詳しい日程は決まり次第、八幡平市議会のホームページに掲載します。

詳しくは、八幡平市議会事務局(☎74-2111、内線1381～1383または☎74-2429)まで。

クイズ

問 ○の中には、どんな文字(数字)が入るでしょう？

4月から上寄木グラウンドは
八幡平市〇〇〇〇場に名称変更

応募方法

はがき、FAX、Eメールに「答え、住所(行政区)、氏名(ふりがな)、年齢、議会だよりを読んだ感想、市政や市議会への意見・要望など」を必ず記入して応募ください。正解者の中から抽選で10人に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします。
※お寄せいただいた個人情報は、景品の発送以外には使用しません。

あて先

〒028-7397(住所不要) 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX：0195-74-2105 Eメール：gikai@city.hachimantai.lg.jp

応募期限

平成27年3月23日(月)(当日消印有効)

前回(No.37)の正解 16(人)

応募者 17人 正解者 17人
当選者 佐々木瞳さん(大更)、浅沼学さん(松尾寄木)、遠藤弘子さん(平館)、松尾好子さん(松尾)、大森リツさん(叭田)、久世教枝さん(柏台)、小田島トシ子さん(叭田)、佐藤萌々さん(打田内)、白岩和江さん(柏台)、工藤久美子さん(田頭)

第3回 臨時会

給与条例改正案 など10議案可決

- 会期(1日)
11月27日
- 報告 1件
- 議案 10件
(市長提出)

承認

●平成26年度八幡平市一般会計補正予算(第6号)の専決処分に関し承認を求めることについて
歳入、歳出それぞれ1939万円増額するもので、26年12月14日の衆議院議員総選挙執行に係る予算措置が必要となり専決処分したことから、議会の承認を得るものです。

原案可決

●八幡平市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
国と県の例に準じ、一般職の給与月額を平均0・38%、勤勉手当を0・15カ月分引き上げようとするものです。

●八幡平市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
国と県の例に準じ、期末手当を0・15カ月分引き上げようとするものです。

●平成26年度八幡平市一般会計補正予算(第7号)
歳入、歳出それぞれ3510万円増額するもので、主な歳出は給与条例改正などに伴う人件費です。

議会活動レポート

昨年11月10日に八幡平ロイヤルホテルで宮古市・八幡平市議会議員合同研修会が行われ、市商工観光課が市の観光について紹介したほか、(株)サラダファームの田村恵アグリ事業部長が「女性の社会進出について」と題し講演しました。



留学などの経験談を語る田村恵氏(写真左)

1月26日にいこいの村岩手で八幡平市議会議員と農業委員合同研修会が開催され、「農地中間管理事業の進捗状況と今後の展望」と題して、公益財団法人岩手県農業公社の徳山順一常務理事が講演を行いました。



農地利用の今後について説明する徳山順一氏

農地利用の今後の方向性は

八幡平市議会議員と農業委員合同研修会

3月定例会から議会映像公開スタート

開かれた議会を目指し、議会からの情報発信、情報公開を積極的に行うため、平成27年市議会第1回定例会(3月定例会)から議会映像の公開をスタートします。

■公開する映像 定例会・臨時会本会議、予算・決算特別委員会

■公開方法 ①市役所本庁舎1階ロビーのテレビでライブ中継

②インターネットの動画共有サービス「YouTube」で録画中継(配信)

※詳しくは、八幡平市議会のホームページに掲載していきます。

議会のまど



なか かる まい せい いち
中軽米清一さん
(柏台三丁目)

トラウトガーデンを
有効に利用し誘客を

最近、金沢橋を渡り八幡平温泉郷温泉郷へ向かう車をあまり見かけません。案内看板が目立たないことや、八幡平トラウトガーデンが営業休止になったことで雰囲気寂しくなり、客足が低下しているのだと思います。

そこで、交差点付近の案内板を改善するとともに、休業中の八幡平トラウトガーデンの施設を自転車旅行の人などが利用できるキャンプ場や日帰り入浴施設など、観光客だけでなく市民の健康維持増進として親しまれる場所に活用して、人が集まり、にぎわいのある場にしていけることが大切ではないでしょうか。

ハ

チマンタイラーをもっと活躍させてほしいです。
(大更・26歳女性)

住

宅リフォーム工事や浄化槽設置、太陽光発電システム設置など、市で助成しているものの一覧を作成してほしいです。
その都度広報に掲載されますが、必要なときに分かりにくいです。(松尾寄木・39歳男性)

議

員の皆さんには目に見えた行動をしてほしいです。新聞折り込みに入る議員の活動内容のチラシはわかりやすいです。(平舘・50歳女性)



クイズに寄せられた意見などの中からいくつかを紹介します。

傍

聴者数が少ないと思います。何か特典などをつけてはどうでしょうか。(松尾・43歳女性)

議

この地域ではゴミがたまって困ります。(大更・56歳男性)

会だよりの読み「あしろ保育所畑分園の廃園は考えていない」という答弁に安心しました。来年度からは3歳未満児も受け入れるということで、うれしく思います。(吹田・66歳女性)

25

年度の震災等緊急雇用対応事業費補助金1億1300万円での地元雇用は16人でしたが、地元で働きたい人はたくさんいるはず。もっと雇用の場をください。(野駄・54歳女性)

平成26年第4回定例会傍聴者数

91人

市議会ホームページにアクセスを

八幡平市議会のホームページには、はちまんだい議会だよりのほか、議会日程(会期日程、一般質問の通告一覧)や議決結果、会議録(キーワード検索できます)などを掲載しています。ご覧ください。

今回の表紙



盛岡誠桜高校3年
伊藤なのは 選手

いとう・なのは
18歳 西根中卒

県

予選突破の原動力となり、主将として1月5日から開催された第67回全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー)に出場した伊藤選手。「春高での結果には悔いがあるが、技術的にも人間的にも大きく成長できた」と高校3年間を振り返る。「上のカテゴリーでバレーを続け、さらに自分を磨き、国体出場に貢献したい」と語る伊藤選手は、希望郷いわて国体への思いを新たにしたい。